

# まちサポ通信 Vol.8

- Contents -	P1	まちサポ主催『赤井地区ウォーキング』開催・ラジオ放送情報・イベント情報
	P2-3	益城が拠点の活動をご紹介します①～⑤
	P4	益城が拠点の活動をご紹介します⑥・助成金に関する情報
	P5	備品の貸出について・まちサポ掲示板について・まちサポフェスタ運営ボランティア募集
	P6	お知らせ

## 赤井地区ウォーキング を開催しました！

【日時】11月23日(火・祝) 9時半～

赤井台地の史跡を守る会の城本さんより赤井城跡や赤井火山火口跡等についてお話を聞きながら、赤井地区をウォーキングしました。日枝(ヒエ)神社では益城町歴史・文化歌留多研究部の方々のご協力、ミニ益城カルタ大会も行い、ただ眺めるだけではない、赤井の歴史や自然に触れながら楽しめるウォーキングとなりました。

まだまだここだけでは伝えきれない魅力がたくさんある赤井地区。今回参加者へ配布された「赤井の史跡を歩く」パンフレットはまちサポラックにも設置しています。マップや赤井について詳しく載っていますので、是非、手に取ってご覧ください！

【ルート】

ミナテラス  
↓  
浮草堀  
↓  
日枝神社  
↓  
赤井公民館  
↓  
そうめん滝  
↓  
ミナテラス



そうめん滝で集合写真



駐車場から南へ出て第一畑中橋を渡り、約10分で浮草堀に到着。城本さんと合流。



城道を通って赤井城跡(現日枝神社)へ。眺めが最高でした！



赤井観音堂



赤井水源



ミニ益城カルタ大会



赤い軽石、梅瓶(メイピン)や土器の欠片などの表探遺物も見せていただきました。



まちサポに戻り、砥川溶岩や写真などを見せていただきながらコーヒータイム。話に花が咲きました。

水路を流れる水は透き通るほどきれいで、年々減ってきてはいるものの蛍が見られる所もあるそうです。ウォーキング中に野ウサギに遭遇するなど、自然の豊かさに改めて感動しました。

## ラジオ放送情報

毎月  
第1金曜日  
13時～

生放送番組『校区のチカラ』内  
まちサポコーナー『ラジオでまちサポ通信』放送

まちサポの登録団体情報や益城が拠点の活動情報をお届けします！

視聴方法

FM79.1MHz またはスマートフォンで

<https://www.jcbasimul.com/?radio=fm791>にアクセス

## 団体のイベント情報

益城町の未来について群馬から特別講師を招いて  
オープン学習会

【日時】 令和4年1月15日(土) 12:30～16:00

【場所】 益城町交流情報センター ミナテラス  
視聴覚室

【参加費】 1,000円

【申込先】 新老人会益城支部 語ろう会  
TEL: 090-1364-9403

## 益城が拠点の活動をご紹介します①

### 益城町文化祭



益城町文化祭が、10月23日(土)、24日(日)に益城町文化会館で2年ぶりに開催されました。今年もステージ部門、展示部門にたくさんの町民の方が、日頃の成果を披露されていました。ロビーでは、「益城町歴史・文化歌留多研究部」によるカルタ会が開かれました。



## 益城が拠点の活動をご紹介します②

### キャンプマルシェ at 益城 fam



秋晴れの日が続いていた10月24日(日)、益城ファーマーズ・ビレッジ・ファムで、「キャンプマルシェ at 益城 fam」が催されました。主催者の「WOODS」店長の山下さんは、お店は菊池に出されていますが、益城在住で、益城を元気にしたいという思いで初めて企画され、今回は13店舗が参加となりました。開店の午前10時には、既にたくさんの人が訪れていて、美味しそうな匂いが漂っていました。



#### WOODS

今ブームのキャンプ道具がなんでも揃っています。



#### pehmea(ペフメア)

昨年、小池にオープンしたクッキーと食事のお店です。



#### 肉の高田屋

オーナーは益城出身。ステーキは午前中に完売しました。



#### Flower shop Green & Red

即席で、屋外のスワッグ教室が開かれました。



## 益城が拠点の活動をご紹介します③

### ましき健康MINI広場



11月7日(土)、まちサポの隣の芝生広場で、「ましき健康MINI広場」が開催されました。益城在住の3Pillars代表川上さんが、コロナ禍で運動不足の町民の方に健康になってもらいたいという思いと、自らが主催されている「モルック」を広げたいということで、企画されました。テレビでおなじみのマッスルアップ熊本のスガッシュさんが進行で盛り上げてくれました。

#### モルック、けっこう難しい



#### バトルロープ体験



#### マッスルアップと一緒に体操



#### ダンスサイトリー



#### サリーズ(火の国サラマンダーズのチアユニット) サリーズJr.



益城が拠点の活動をご紹介します④

## 「地域が残した震災遺構シンポジウム」 平田・柳水地区郷づくり協議会

【日時】 11月13日(土) 13時30分開始

【場所】 平田・柳水集会所及び平田中公民館周辺

- 【目的】
- 『平田・柳水地区郷づくり協議会』が、地域の復旧と復興に向けた活動を報告する機会とする。
  - 『地域が残した震災遺構の価値』をみつめ、命、防災、自然のメカニズムを考える資料としてどのように活かすかについて学ぶ機会とする。
  - 地域に残るありのままの震災遺構を広く町内外へと情報発信し、郷づくり及び地域おこし活動のあるべき姿を考える機会とする。

【シンポジウム】

熊本大学特任教授(地質学)

鳥井真之氏

「熊本地震がどんな地震だったか」  
熊本地震は歴史的、経済的、学術的、教育的に価値があり、震災遺構は貴重な存在。研究者と住民が連携して、自然災害を多くの人と共有していく。



広島大学大学院人間社会科学研究科

岩佐佳哉氏

「平田地区の地震調査の成果」  
トレンチ調査(はぎ取り標本)から、熊本地震のずれと、6000年前から繰り返してきたずれでできた地形だということが分かった。



熊本博物館学芸員

南部靖幸氏

「科学的な現象をどのように保存・活用し情報発信するか」  
剥ぎ取り標本は、地域の宝であり特色を活かした活動と地域や学校と連携していくことが重要。



元小学校教員(益城町民)

坂本文隆氏

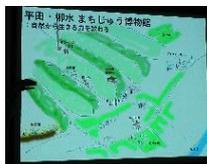
「調査と震災遺構を地域おこしに活かす取組への試み」  
震災遺構は、地域が残した博物館。見学を通して、地域、大学、博物館が共有し、地域のイベントとしていく。



熊本県立大学環境共生学部

鄭一止氏

「震災遺構を活かした地域の生き甲斐づくりや経済活動の可能性」  
この地域遺産は、まちじゅう博物館として、住民と学芸員の取り組みが大事であり、行政の支援も必要。



平田・柳水地区郷づくり協議会会長

濱田雅之氏

「郷づくり協議会が目指してきたこととこれからの活動」  
平田の断層帯を全国に発信し、『帰りたくなるちょうどいい田舎』を目指して、今日からスタートしていく。



【震災遺構見学】

岩佐氏の案内で、断層のずれ、谷川の屈曲、被災小屋、トレンチ掘削地点、被災桜など説明を受けながら見学。



編集後記

50名を超える参加者があり、郷づくり協議会の濱田会長はじめ、会の方々、住民の皆さんの地元愛と情熱を感じました。同じ経験をした者として、熊本地震の教訓をこれからも共有していきたいと思ひます。(西山)

益城が拠点の活動をご紹介します⑤

## 「ましきパーキンソン病等難病友の会」茶話会

1年半ぶりに、21回目の茶話会が開催されました。定期的に会を開いて、近況報告や悩みごとなどを意見交換しています。久しぶりに外出された方もいらして、多くの意見が出ました。

【日時】 11月7日(日) 13時30分～

【場所】 保健福祉センター はびねす

【参加者】 14名(患者7、家族2、サポーター3、生活支援1)

- 【意見】
- 言葉が出にくい
  - 呑み込みが悪い
  - むせる
  - 夕食後息苦しくなる
  - 便秘がひどい
  - 薬を飲むと固まる
  - 靴下がはけない
  - よくこける
  - 幻覚がでる
  - 運動不足で足腰にきた
  - 薬を飲み忘れると症状が強くなる
  - 介護タクシーで病院の帰り発熱し、帰路の乗車を断られた。



会場準備等のボランティアを募集しています! まちサポまでご連絡ください。

## ましきの学び主催「クロスロード体験」

【日時】11月13日(土) 13時～  
【場所】まちサポスペース  
【ゲスト】くまもとクロスロード研究会

### くまもとクロスロード研究会

熊本地震をきっかけに発足。今までのクロスロードの設問とは違う問題（ジレンマ）が出てきたことから、発災前後の『ジレンマ』を採取・問題化し、『ジレンマ』の継続的な記録と継承活動を行っています。現在38名で活動。

### ましきの学び会

2021年1月、代表の井下さんが発行している「益城の学び新聞」を作成していく中で、益城には学びがたくさんあることに気づき、新聞だけでなく「こんなことを学んでみたい」という事を学べる機会を作りたいと設立。現在3名で、月に1度程度活動している。

東日本大震災から10年経ち、東北の教育の事例に学ぶ「教育復興について」や、「飯田山に登って朝ごはんを食べよう！」など、メンバーがやってみたいと思った事を活動で行っている。クロスロード体験は今回が初めてであったが、今後も続けていきたいとのこと。

### クロスロードとは？

阪神・淡路大震災で災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューをもとに作成されたカード形式の防災ゲーム。災害時に生まれる葛藤について、自ら考えYESかNOかを判断し、その理由を共有していきます。災害を自らのこととして考え、災害時の問題と対応策を学び、様々な考え方や価値観を知ることができます。



クロスロード熊本編のカード

くまもとクロスロード研究会の松里さんより、『くまもとクロスロード研究会』と『クロスロード』についてお話があった後、「赤と青どちらが好き？」という設問で、実際にカードを使って参加者で自己紹介をしクロスロードの進め方を把握したあと、**あなたは「避難所の食料担当」です。ここには避難者が3,000人います。現在、2,000食分の非常食が確保できました。以降の見通しは今のところありません。非常食を配布しますか？**など、設問に向き合い、「自分なら・この立場だったらどうする？」と、一人ひとりの違った考え方を共有しました。

## 助成金に関する情報

民間企業で募集している助成金情報をご紹介します。詳細は電話かHPで確認してください。

### 公益財団法人あしたの日本を創る協会 地域活動団体への助成「生活学校助成」

#### 【助成の趣旨】

近所のお年寄りや子どもたちの見守り、ごみの回収や資源リサイクル活動など、身近な地域や暮らしの問題に取り組むグループの皆さま、生活学校に参加してみませんか？生活学校の趣旨に賛同し、参加を希望する地域活動団体の募集を行い、当協会から活動経費の助成を行います。

#### 【対象団体】

(1)及び(2)の両方に該当する団体

- (1) 身近な地域や暮らしの課題解決に取り組む地域活動団体
- (2) 全国の生活学校が連携して行う全国運動に参加する意向のある団体

【締切】令和3年12月31日（金）

#### 【問い合わせ先】

公益財団法人あしたの日本を創る協会  
生活学校募集係  
〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-7  
大成堂ビル4階  
TEL03-6240-0778 FAX03-6240-0779  
<http://www.ashita.or.jp/sg2.htm>

### 公益財団法人ノエビアグリーン財団 2021年度助成事業対象者募集

日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、心身ともに健全な青少年の育成に寄与することを目的として、一般公募による助成活動を実施しています。

#### 【応募資格】

児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している下記①～⑨の分野にあてはまる団体。

- ① スポーツ体験活動
- ② ジュニアアスリート選手育成活動
- ③ 自然体験活動
- ④ 科学体験活動
- ⑤ 地域に根ざした子供たちへの支援活動
- ⑥ 障がいのある子供たちへの支援活動
- ⑦ 自然災害等による被災地の子供たちへの支援活動
- ⑧ 児童養護施設の子供たちへの支援活動
- ⑨ その他の体験活動

【締切】2022年2月28日（月）正午

#### 【問い合わせ先】

公益財団法人ノエビアグリーン財団  
〒104-8208 東京都中央区銀座7-6-15  
TEL03-5568-0305  
<https://www.noevirgreen.or.jp/grants/index.htm>

## 備品の貸出について

益城町福祉課では、益城町内で広く地域住民に利益を還元する公益性・公共性の高い活動を行う団体等に対し、町が所有するパソコンやプロジェクタ等を無料で貸し出ししています。ぜひご活用ください。

### ■貸出対象者

町内で活動を行う団体または個人  
※貸出申請者は20才以上であること

### ■貸出対象活動

- (1) 地域交流や地域のコミュニティ形成、まちづくり活動
- (2) 介護予防や健康づくり等の活動
- (3) 研修会や勉強会、その他住民の資質向上のための活動
- (4) その他地域の活性化につながる活動

### ■使用料

無料（ただし、電気代その他の実費は使用者の負担）

### ■使用許可申請から返却までの流れ

#### ○申請時

使用許可申請書、使用者の本人確認証（マイナンバーカード・免許証・保険証等）、その他福祉課が必要と認める書類を役場福祉課地域福祉係に提出⇒町で審査後、使用許可書が発行されます。

#### ○使用時（借用時）

利用当時に福祉課地域福祉係に行き、使用許可証を提示。

#### ○返却時

使用後は、使用許可時間終了までに福祉課地域福祉係に備品を返却。

### 貸出備品

パソコン  
タブレット（iPad）  
モバイルWi-Fi  
外付けDVDドライブ  
プロジェクタ  
スクリーン  
バーベキューコンロ

### 【お問合せ】

益城町役場 福祉課 地域福祉係  
電話 096 (234) 6113

## まちサポ掲示板をご活用ください★

まちサポ内と、まちサポに隣接している交流ラウンジ内では『まちサポ掲示板』を設置しています。

- ・団体の会員を募集したい
- ・ボランティアを募集したい
- ・イベントの告知をしたい

など、掲示したいものがございましたら、まちサポ窓口までご相談ください。



会員募集	
団体名	
活動内容	
活動日時・場所	
対象	
その他	

ボランティア募集	
団体名	
日時	
場所	
人数	
内容	

ボランティア募集	
団体名	まちサポ
日時	2022年3月27日(日)
場所	益城町交流情報センター ミナテラス
内容	令和3年度まちサポフェスタ 2年ぶりに開催します！ 当日の運営のお手伝いをして ください。大募集!!! 詳しくは、まちサポまで！

☞『会員募集』『ボランティア募集』などのチラシのひな形もご用意しております。チラシを作るのが難しいという方、ぜひご活用ください。写真を貼ったり、カラーペンでカラフルにしたり、自由にカスタムOK！

## 令和3年度 まちサポフェスタ 運営ボランティアを募集します！

2022年3月27日（日）2年ぶりに開催するまちサポフェスタでは、会場案内や消毒・清掃など、当日の運営のお手伝いをしてくださる方を募集します！  
お問合せはまちサポ（096-287-1611）まで。



## 情報提供お待ちしております！

まちサポでは皆様からの様々な情報を募集しています。

- 団体の活動情報・イベント情報
- 会員募集
- みんなに広めたい益城町の良いところ・・・など

まちサポ通信に載せてほしい！と思う情報がありましたら、お気軽にまちサポまで☆★

☎ たくさんの情報お待ちしております！ ☎



## 登録情報の確認・更新のお願い

団体・個人の登録情報に変更がありましたら、窓口にて登録変更の届出をお願いいたします。

- 名称 ●代表者氏名 ●連絡者氏名 ●事務所住所
- 連絡先(電話番号、FAX、携帯番号、メールアドレス)
- 組織形態

## 施設の利用について

【輪転機】無料 1原稿20枚以上

※用紙は利用者様持込み

※登録団体活動上使用する印刷のみ

【コピー機】モノクロ:10円/枚 カラー:30円/枚

【ロッカー】6ヵ月につき600円

※使用期間が6ヵ月未満の場合は、6ヵ月に切上げ。お支払いはミナテラス窓口まで。

まちサポ通信を設置していただける店舗を募集しています！ご希望の方はまちサポまで！

## 新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願い

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、下記の利用条件等を守りご利用いただきますようお願いいたします。

- ・マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒、手洗いなど。
- ・ご利用の人数は9人以下、利用者全員の連絡先の把握。
- ・三密(密閉、密集、密接)を避け、可能な限り短時間での利用。

まちサポでは登録団体が作成したCDやDVDを無料配布しています！

ご希望の方は、お気軽にまちサポ窓口までお声掛けください☆★



【写真左】 ましきパーキンソン等難病友の会

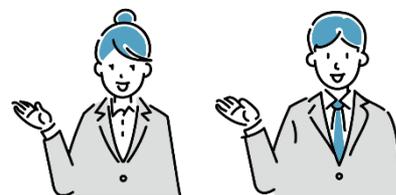
『PK 患者のための体操物語』

- ・第一章「目覚めよ からだ」
- ・休憩～深呼吸～
- ・第二章「自分との対話」

【写真右】 みゆき&オートルズ

『益城ふれあい音頭』

- ・益城ふれあい音頭
- ・仙酔峡の想い出



## 益城町まちづくり活動支援センター まちサポ

〒861-2242 熊本県上益城郡益城町木山236 (益城町交流情報センター・ミナテラス内)

電話 096(287)1611 FAX 096-287-1612

メール [m-sapo@fm791.jp](mailto:m-sapo@fm791.jp)

フェイスブックページ <https://www.facebook.com/mashikimachisapo>



開館時間/午前9時～午後6時 休館日/月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日)・年末年始 業務受託管理者/株式会社 熊本シティエフエム